

「わが村は美しくー北海道」運動コンクール

過去の応募団体のご紹介(釧路・根室地域)

第1回コンクール

【景観部門】 浜中町酪農振興会連合会

自然環境の保全・美化運動のため、9つの地区がそれぞれワークショップ方式による手作りの公園整備、国道沿いのヒマワリの植え込み、ピオトープによる環境保全など独自の取り組みを行っています。



平成9年からは地域のシンボルとしての農家案内看板を設置、廃屋の処理や放置されていた農機具の回収を始め、住宅や牛舎の周辺などへの植栽を行っています。平成14年には国道沿いに950本のエゾヤマザクラを植え、桜並木を目標に景観美化を進めています。

【地域特産品部門】 摩周メロン生産組合

組合では、11品種のメロンを試作した中から青肉種ボーナス2号を「摩周メロン」と名づけ、栽培を開始しました。最初は知名度が低く、売り込みにも苦労しましたが、弟子屈郵便局がふるさと小包に採用したことで人気が出てきました。現在は赤肉の「摩周レッド」が主力となり、北限の地で採れる「摩周メロン」は高品質ブランドとして認知されています。この成功は他の農家への刺激となり、カボチャ、スイートコーン、白菜などが栽培されるようになり、地域農業の安定にも貢献しています。



【景観部門】 虹別連合振興会

集落再編と併せて、自主的に地域づくりの取り組みが始まり、特に民間の地域作り団体「虹輪塾」が積極的な活動を行っています。



また、連合振興会の環境整備特別委員会が中心となり、地域紹介のマップやオリジナルカレンダーの作成、住宅周りに芝地を作る活動や、粗大ゴミ・廃屋等の撤去、農業用廃プラの適正処理の推進なども行っています。他にも、公園に歴史的な農機具を展示した野外博物館作りや、オートキャンプ場作りなど、住民が力を合わせて活動しています。

【人の交流部門】 摩周ファームイン研究会

研究会では、摩周酪農体験ゼミナールを年10回ほど実施しています。講師は町、農協の職員、獣医師などが務め、宿泊先には町内のホテルと連携を図るなど町ぐるみで活動に取り組み、他の町からも多くの人を受け入れ、年間45,000人が来場するまでに発展しました。



搾乳体験、バターやアイスクリーム作り、トラクターでの草原周遊、給餌体験、子牛とのふれあい体験など、地元の酪農家で協力しあい、農業実習生の受け入れも行っています。

【景観部門】 虹別コロカムイの会

同会はシマフクロウの営巣地となっている西別川流域の植樹活動を行っています。



地元の酪農家や別海町、標茶町の協力で土地を確保し、平成6年からナラ、ハンノキ、シラカバなどを2万本以上植樹しました。河畔林への巣箱設置、サケ・マスの放流、河畔流域の清掃を通して「いきもの」が良い環境で存在し合える景観作りを目指しています。平成14年には「シマフクロウの森づくり百年事業」の一環として植樹祭や摩周水環境フォーラムへも参加しています。